

へき地保育所の認可保育所等への移行について

1 アンケート調査結果

(1) 目的

- 平成32年4月に認可保育所等への移行を予定しているへき地保育所について、今後の保育サービスの内容などを検討する際の基礎資料とするもの。

(2) 調査の方法

- ① 調査対象 これまでにへき地保育所を利用したことがある方
今後、へき地保育所を利用する可能性のある方
- ② 期 間 平成28年12月5日～平成29年1月10日
- ③ 調査方法 大正・川西地区のへき地保育所、小中学校、農業団体・町内会等を通じて配布・回収
- ④ 調査項目 乳児保育や延長保育、一時保育の利用希望など

(3) 回収結果

配布数 : 826件 回収数 : 294件 回収率 : 35.6%

(現在へき地保育所を利用している世帯数=182件 左のうち回収数=120件 回収率:65.9%)

(4) 調査結果の概要 別紙

2 アンケート調査結果を踏まえた保育サービスの利用人数の推計

(1) 認可保育所等へ移行後の入所児童数の推計 (平成32～36年度)

- 平成32～36年の0～5歳児の人口推計にアンケート調査結果の入所希望の割合を乗じて試算。

保育所	利用率(%)	入所児童数(人)				
		平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度
川西	71.0	57	55	54	53	52
富士	65.0	18	17	18	17	18
清川	70.8	23	20	18	18	18
広野	70.6	16	18	17	17	16
ことぶき	75.0	77	74	70	68	67
愛国	77.8	16	16	16	16	15
合計	-	207	200	193	189	186

(2) 乳児保育、延長保育、一時保育、認定こども園 (幼稚園機能) の利用人数の推計 (平成32年度)

- 乳児保育については、平成32年度の0歳児の人口推計にアンケート調査結果の乳児保育の利用希望割合を乗じて試算。
- 延長保育については、(1)の平成32年度の入所児童数にアンケート調査結果の延長保育の利用希望割合を乗じて試算。
- 一時保育については、認可保育所等の入所を希望しない人数(平成32年度の0～5歳児の人口推計と(1)の平成32年度の入所児童数の差)にアンケート調査結果の一時保育の利用希望割合を乗じて試算。
- 認定こども園については、(1)の平成32年度の入所児童数のうち3歳以上の人数にアンケート調査結果の認定こども園の利用希望割合を乗じて試算。

保育所	乳児保育		延長保育		一時保育		認定こども園	
	利用率(%)	人数(人)	利用率(%)	人数(人)	利用率(%)	人数(人)	利用率(%)	人数(人)
川西	26.5	4	30.6	17	10.0	2	26.5	12
富士	23.1	0	15.4	3	14.3	1	23.1	3
清川	23.5	1	20.6	5	0.0	0	26.5	5
広野	33.3	1	8.3	1	20.0	1	25.0	3
ことぶき	14.3	2	19.0	15	4.8	1	27.0	11
愛国	28.6	1	28.6	5	0.0	0	7.1	1
合計	-	9	-	46	-	5	-	35

3 今後の検討の方向性

設備・運営基準上の職員の配置基準や国の補助基準上の利用人数等も参考に、保護者や関係者の意見や運営経費の試算、現施設の状況などを総合的に勘案した上で、各保育所におけるサービス内容を決定します。

(参考)

乳児の職員配置基準	乳児3人に対し保育士1人の配置
延長保育に係る国の補助基準	1日当たりの平均対象児童数が6人以上
認定こども園 (幼稚園機能)	施設給付費上の最低利用定員が15人

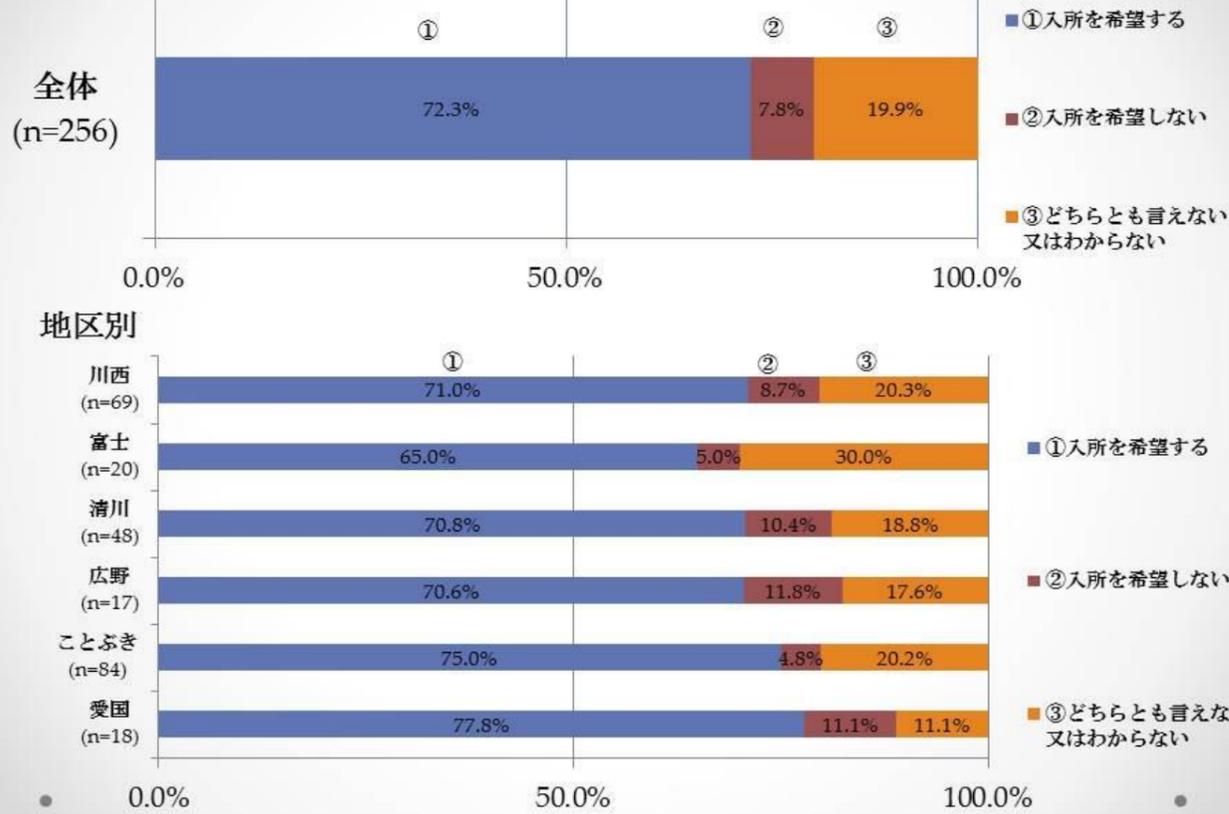
4 今後のスケジュール

- 平成29年 2月 地域・保護者説明会
- // 5月以降 基本調査の実施

(別紙) アンケート調査結果の概要

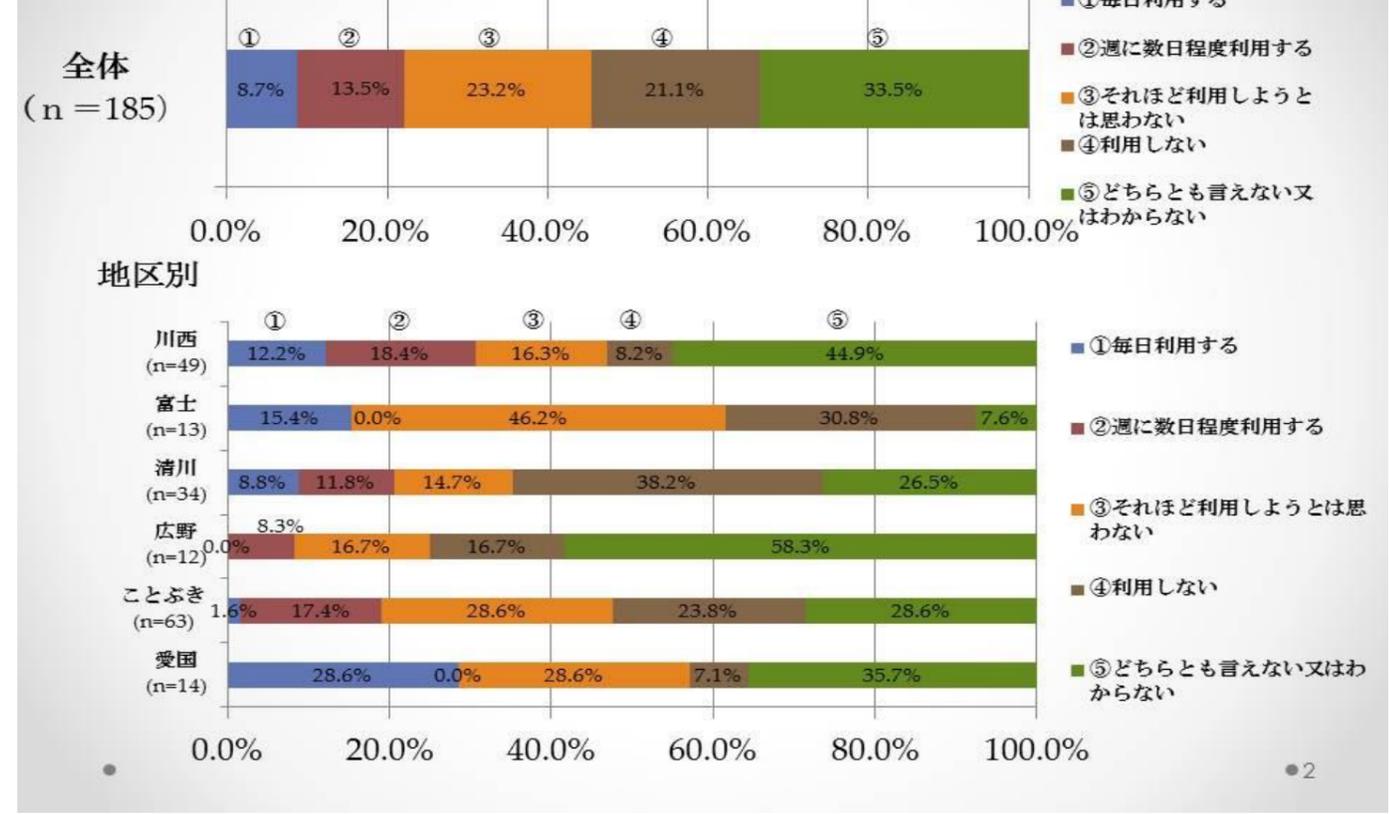
(1) 認可保育所等への移行後の入所希望

※回収数294 - 無回答38 = 有効回答256 で集計



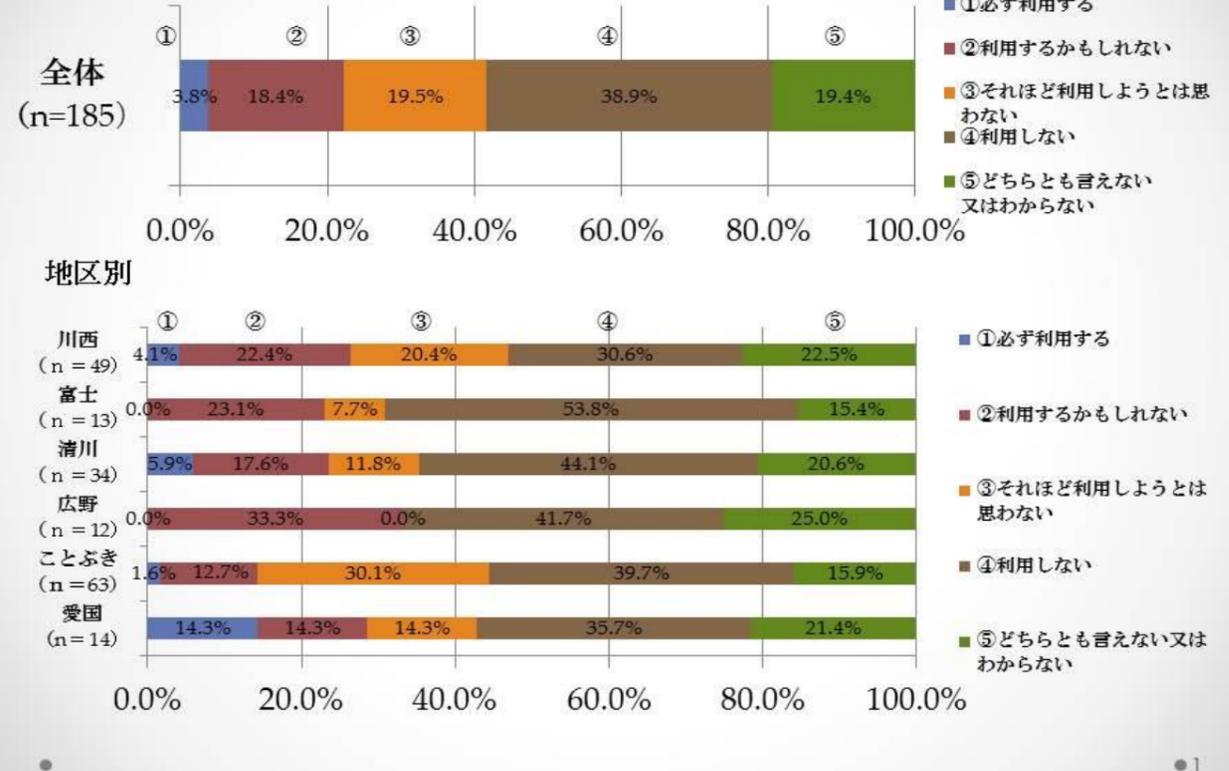
(3) 延長保育の利用希望

※(1)で「入所を希望する」と回答した185人が対象



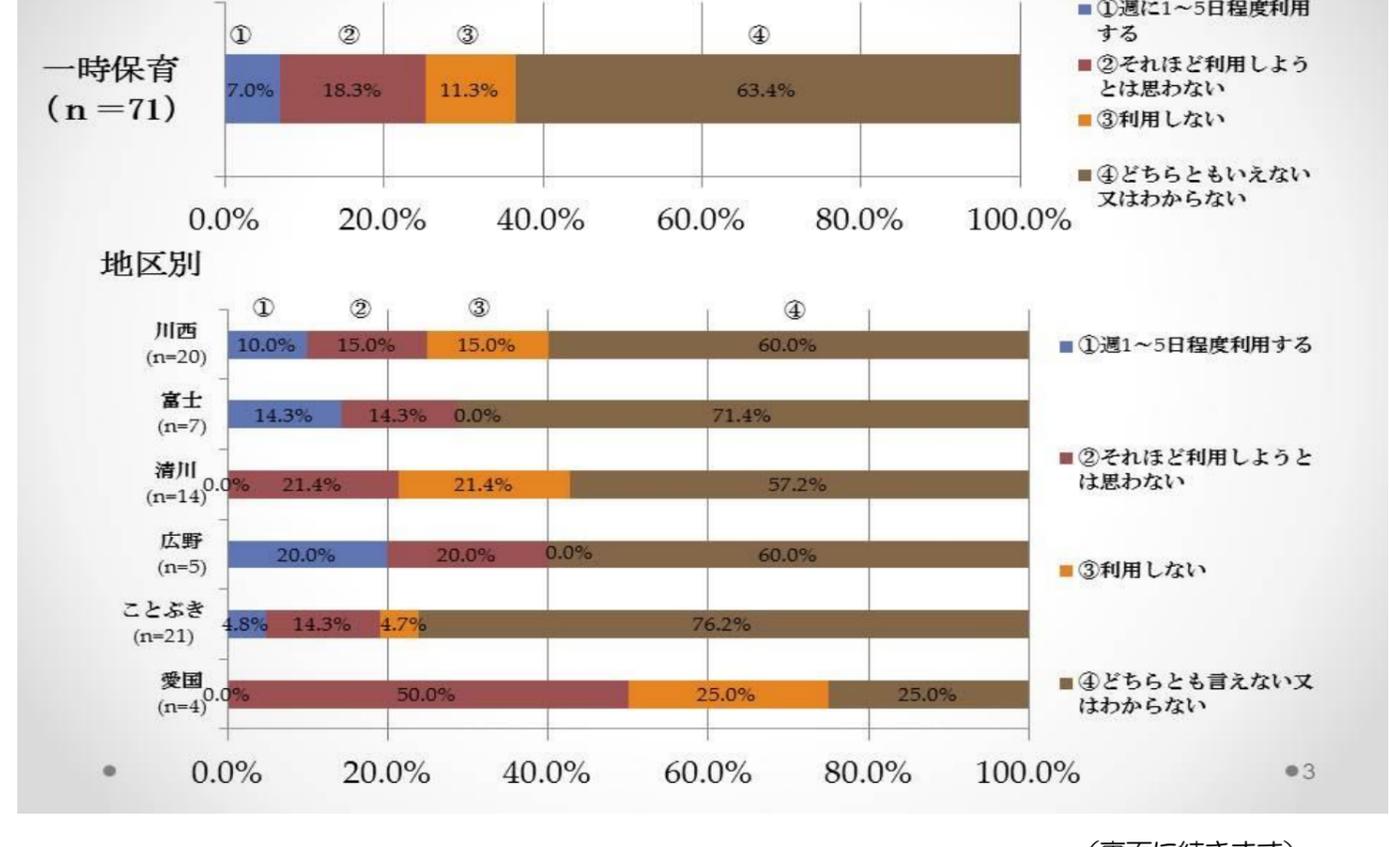
(2) 乳児保育の利用希望

※(1)で「入所を希望する」と回答した185人が対象



(4) 一時保育の利用希望について

※(1)で「入所を希望しない又はわからない」と回答した71人が対象



(裏面に続きます)

(5) 認定こども園（幼稚園機能）の利用希望

※ (1) で「入所を希望する」と回答した方185人が対象

